

人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

研究課題名	当院における COVID-19 患者に対する重症化予防の理学療法の効果
所属科	リハビリテーション科
研究責任者	高橋 忠志
研究期間	倫理委員会許可日～2022年12月31日
研究概要	<p>○目的</p> <p>COVID-19 はおよそ 10%程度が発症 10 日程度で酸素需要が増加し、そのうち数%が人工呼吸器を装着するほどの重症となることが知られています。</p> <p>重症化傾向にある患者には呼吸療法として酸素療法がおこなわれます。さらに、腹臥位療法などのポジショニングが酸素化の改善に寄与することも知られています。</p> <p>当院でも 2021 年 7 月よりリハビリテーション科が介入し、重症化予防としてポジショニングを行っていきました。しかし、理学療法士が行うポジショニングが酸素化の改善に寄与するかは不明です。</p> <p>そこで、当院にて COVID-19 の治療を行い、重症化予防として理学療法士がポジショニングを行うことが重症化予防に寄与するかを明らかにすることを目的とします。</p> <p>○対象</p> <p>2021 年 1 月～2021 年 10 月 31 日の間に COVID-19 で当院に入院し、5L 以上の酸素投与、高流量鼻カヌラ（HFNC）や人工呼吸の酸素療法を行った患者です。</p> <p>○方法</p> <p>診療記録より後ろ向きに調査します。2021 年 1 月～6 月を理学療法未介入群、7 月～10 月を理学療法介入群として、群間比較を行います。</p> <p>○利用する項目</p> <p>主な調査項目は人工呼吸器装着の有無、ICU 入室の有無、転帰です。</p> <p>その他の調査項目は年齢、性別、発症日、喫煙の有無、BMI、酸</p>

	<p>素療法、重症度、合併症（悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患、慢性腎臓病、2型糖尿病、高血圧、脂質異常症、肥満（BMI30以上）、固形臓器移植後の免疫不全、妊娠後期）の有無、リハビリテーション実施の有無、リハビリテーション実施単位数、在院日数、転帰、血液検査データ、投薬内容、HFNCや人工呼吸器の使用期間、離脱後からの退院までの期間、などです。</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について	<p>エクセルファイルでデータベースを作成し、症例の入力は個人が特定できないように、独自の番号を割り付けます。同意撤回があった場合に、データを除外できるようにエクセルファイルで対応表を作成します。</p> <p>作成したエクセルファイルはパスワードを設定し、院内のファイルサーバーで厳重に保管します。</p> <p>なお、一部データは「当院における COVID-19 患者の呼吸療法と食事形態の関係（倫理委員会受付番号：0393）」と共有して研究を進めます。</p> <p>上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、研究の問合せ先までご連絡ください。</p>
臨床研究登録の有無	<p><input type="radio"/>・有（臨床研究登録番号： ）</p>
研究の問合せ先	<p>公益財団法人東京都保健医療公社荏原病院リハビリテーション科 高橋 忠志 〒145-0065 住所：東京都大田区東雪谷 4-5-10 電話番号： 03-5734-8000（代表）</p>
結果の公表について	<p>学会発表および論文で報告します。</p>
利益相反について	<p>特にありません。</p>